

水源の森交流館（仮称）基本構想

各階のイメージ

- 1階：人が集まり多様な活動を行う賑やかな空間
2階：様々なスキルを持つ人たちが集まり
静かに仕事ができる作業空間

■ 芝生

グラウンドに芝生を敷き、人が集まる心地よい空間をつくる。併せて子どもが遊べる空間を整備し、家族みんなで楽しめる空間を目指す。また屋外で様々な人が集まり、日常的な賑わい創出を目指し、定期的なイベントの開催も検討する。

■ 食肉加工施設

安心安全なジビエ料理を東峰村の新しい『名産品』として観光客や村外に売り出すことで地域活性化を図る。そのためには猟友会等の各団体や施設と調整を図りながら計画を進める。かねてより東峰村で問題とされていた深刻な獣害問題の解決にも繋がる。

■ 事務所

小石原小学校の施設運営や管理、シェアオフィス利用者のサポートなどを行う。案内所の観光窓口としての役割を果たし、「東峰村らしさの発信拠点」となるように様々な仕組みづくりを提案する。村での生活を始めた人や困りごとの相談先としても機能する。

■ シェアオフィス

シェアオフィス利用者や村民間での交流ができる仕組みやきっかけ作りを行い、新しい価値や可能性を生み出す拠点とする。またオフィス利用者の生活をサポートするシステムを設け、快適に作業のできる明るい静かな空間を提供する。



■ 宿泊棟

将来、村への移住を検討している人や、村の農業・窯業を経験するための中長期的な滞在を目的とした宿泊施設を検討する。東峰村を拠点とした生活の検討へ繋げるとともに、村外からの移住者の促進を図る。

■ カフェ

目を惹くような見晴らしの良い空間を提供し、地域住民や観光客が気軽に立ち寄り、ゆっくり過ごせる場所にする。また様々なイベントに対応できるようイスなどの配置を転換できる空間とし、可変性のある多目的な交流の場を創出する。さらに宿泊棟にカフェでの食事付賃貸を設ける等して、安定した収入を目指す。

■ 案内所

カフェの一角に案内所スペースを設け、施設で行われるイベントや東峰村観光などの案内を行う。利用者が気軽に東峰村の情報を得ることで、より充実した滞在を促すことができる。2階事務所と連携し、観光客の声を反映させたより良い東峰村観光プランを計画することで活性化を図る。

■ 〇〇〇マーケット

作家による作品等の展示・販売スペースを常設する。作家が日替わり店長を勤め、常に新しい商品を展示・販売することでお客さんに「毎日行ってみたい」という印象を持たせるマーケットを目指す。また村民や宿泊棟利用者の生活を支えるために日用品の販売も検討する。

■ 体験施設

東峰村の人々が持つ技術や知識を生かし、独自の体験メニューを通して村の魅力を知り・学ぶことができる拠点とする。この空間は「すいとー小石原」など地元や外部からの団体客も利用でき、工作や調理など様々な活動が行えるようにする。

個別基本構想

■ 基本構想案の考え方

旧小石原小学校の改修を行い、住民・観光客・シェアオフィス利用者が交流し、賑う空間を創出する。また東峰村の抱える様々な問題解決に向け、村の資源を生かした、洗練された施設のデザインとともに村全体の活性化を目指す。

(1) 芝生空間・食肉加工施設・宿泊棟

芝生

新しくグラウンド全面に芝生を敷きつめ様々なイベントが開催できる空間を創出する。芝刈りなどの維持管理は地元ボランティアと協力して行い、空間に愛着を持ってもらう仕組みをつくる。

- ・人が集まりやすい心地よい空間をつくる
- ・見通しのよい広場に
- ・賑わいが生まれる場所にする
- ・村民や観光客、シェアオフィス利用者と交流の場とする
- ・休憩場所としても利用できるようにベンチを配置する
- ・陶磁器フェスや冬キャンプなど様々な屋外イベントを実施する
- ・使い方のルールを決める
- ・村民が中心となって定期的に草刈りなどの維持管理を行う



(長野県緑地部取材時HPより引用)



(東峰村真夏の文化祭 Facebook より引用)

こどもひろば

村内に少なく整備が行き届いていなかった屋外の子供が遊べる場所を新たにグラウンドの一角に設ける。屋内体験施設のイベントなどにも活用することで地域の子育て・教育の支援を図る。

- ・子どもが遊べる空間をつくる
- ・自然を活かした広場に
- ・芝生を張るなど、子ども達が安全に遊ぶことができるように
- ・子どもが遊んでいる様子を近くで親が見守れるようにベンチを配置するなど工夫する
- ・必要に応じて安全に配慮した低い柵や植栽などを設ける
- ・維持管理を定期的に行うことで、いつでも子ども達が楽しく遊べる空間づくりを目指す



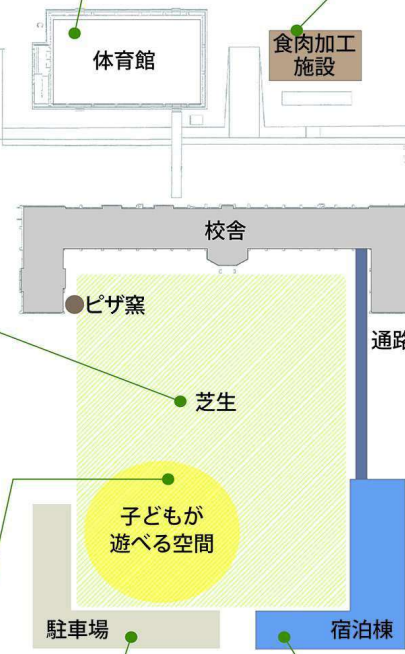
(赤穂民報 記事「住民の手で芝生の公園」より引用)



(福岡大学環境まちづくり研究センターHPより引用)

■ 体育館の活用について

地域のイベントや体験などを実施する。クラブ活動なども行い、住民が日常使いできる空間としての役割も果たす。



■ 駐車場の規模について

シェアオフィスや宿泊棟の規模、施設利用者数を考慮した上で駐車台数を決定する。イベント時には駐車スペースを広げて対応する。

食肉加工施設

東峰村ではシカによる民有地への被害や森林被害が著しく問題となっている。現状の狩猟のみに終わらず、食肉加工を行い新たなブランドとして外部へ売り出すことは村の問題解決と地域活性化の両方を期待できる。併せて狩猟に関わる体制づくりや若手の人材育成の計画も進める。

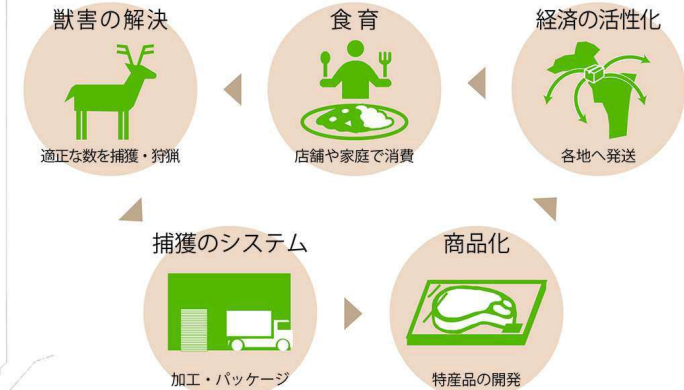


(福岡県農林水産部「ふくおかシカ研究会の報告と福岡県内のシカ工に関する取組状況」より引用)

- ・村の鹿対策になり、森林保全にも繋がる
- ・カフェと連携し、ジビエ料理を提供する
- ・加工した鹿肉を村内の他の食事処でも利用できるようにする
- ・村の外へも鹿肉の加工品を売り出す
- ・鹿肉という東峰村の新たな名産品をつくる
- ・知識のある人が運営管理をする
- ・安心して食べられる鹿肉と印象付けるための仕組みづくりをする

■ 地域活性化との関係について

獣害問題の解決や捕獲システムなどの整備、計画を進め東峰村の活性化を推進する。



宿泊棟

カフェでの食事や日用品販売との連携を考えた滞在プランを計画する。東峰村を拠点とした生活を検討をしている人への空き屋紹介などフォローアップも行う。

- ・ターゲットはシェアオフィス利用者と観光客
- ・景色の邪魔をしない低めの建物にする
- ・校舎や周囲の景色と調和したデザインにする
- ・宿泊者も村民も利用できるお風呂を完備する



(早稲田大学建築HPより引用)

個別基本構想

(2) カフェ・案内所・マーケット・体験施設

カフェ

カフェでは映画フェスや音楽フェスなど様々なイベントが開催され、気楽に集まれる新たなコミュニティ空間を目指す。多少遅い時間まで営業を行い、焼物の器にのせた洋食やジビエ料理などを提供し、東峰村の魅力が感じられるおもてなしを目指す。

- ・様々なイベントができる可変性のある多目的な空間にする
- ・テラス席を設け、外からの視線を集める場所にする
- ・カフェ利用者からも外の景色が見えるよう、道路側に設置する
- ・毎日営業を目指す
- ・少し遅くまで店を開ける
- ・定期的にイベントを行う
- ・給食メニュー、ジビエ料理、小石原の料理、季節の料理を提供する
- ・器は焼物を用いる
- ・焼物を陳列する空間を設ける
- ・Wi-Fi を繋げる
- ・休日やイベント時にはアルバイトを雇うことも検討する



(武庫川シマノHPより引用)



(3331 Arts Chiyoda HPより引用)

案内所

東峰村にある施設や窯元の紹介、イベント情報の提供を行うことで近年増えている着地型観光に対応したプランが提供できる。また銀行 ATM を設置するなど住民・観光客の利便性にも配慮した村の情報発信拠点とする。

- ・カフェと併設する
- ・東峰村のパンフレットやイベントの広告を配置する
- ・村内の詳しい情報については2階の事務所と協力する
- ・案内所とカフェの運営・管理者を同じにすることも検討する



(トリップアドバイザーHP 東峰観光案内カウンターより引用)



(岡山県北野上町のまちHPより引用)

焼物の使い方や窯を用いたピザ焼き体験など、東峰村ならではのメニューを数多く取り揃え、様々なニーズに対応出来る施設にする。また地元住民に講師を担当してもらい、「東峰村らしさ」にこだわった体験を提供する。

- ・村内で既に行われている陶芸体験などは行わず、焼物の使い方を学べる場所にする
- ・窯を利用したピザ焼き体験を提供する。ピザはカフェでも出せるようにし、カフェの近くに窯を設置することを検討する
- ・体験講師は交代制にする
- ・調理室を設ける
- ・大人数が収容可能な部屋を設ける
- ・地元の団体等にも場所を提供する



(山形県北村市オムラガサキ窯元より引用)



(岡山県北野上町のまちHPより引用)

◇村内で行われている体験

- ・陶芸体験
- ・農業体験 (田植え、稲刈り等)

◇第4回WSにて挙げた実現可能な体験

- ・炭焼きたけのご堀り体験
- ・農業体験 (梨、米)
- ・革細工体験
- ・林業体験 (竹・キノコ)
- ・植林体験下草刈り
- ・鹿に関する命の講義
- ・炭焼き体験
- ・手遊び体験
- ・陶片アート体験
- ・焼物そくり体験
- ・ピザ窯体験
- ・小石原焼の説明
- ・天然酵母でのパン作り体験
- ・ちまき巻き体験
- ・こまうち体験
- ・お料理教室
- ・きのこ作りに関するセミナー
- ・シナリオプランニングの開催
- ・山登りルートの案内
- ・山登りのファーストステップ体験

〇〇〇マーケット

地元の農作物を使った加工品や作家がつくった工芸品などを販売し、お客を飽きさせない工夫をする。また焼物の販売は道の駅や窯元と差別化するため行わないようにし、村内における回遊性の向上を図る。

- ・展示・販売スペースを常設する
- ・加工品・工芸品・日用品を販売する
- ・小学校のイメージを残しつつ新しくオシャレな場所にする
- ・イベント時には仮設テントを設置し屋外での販売も可能にする
- ・日替わり店長を設けるなど運営の工夫を考える
- ・イベントや商品等の情報を常に発信する
- ・道の駅や窯元で行う販売との差別化を図る



(東峰ムラガース Facebookより引用)



(岡山県北野上町のまちHPより引用)

芝生

■ 通路について

宿泊棟利用者が雨天時でも小石原小学校の各施設に移動できるように通路を設置する。

個別基本構想

(3) 事務所・シェアオフィス

シェアオフィス (図書スペース)

誰でも使える図書スペースは住民とオフィス利用者との交流ができ、新たなアイデアが生まれる場所にする。また東峰村を拠点に活動する起業家を育て地域活性化を目指す。

- ・カフェへの行き来がしやすいつくりにする
- ・シェアオフィス利用者や村民が休憩できるようなフリースペースを設ける
- ・広場の賑わう風景が見えるような明るい空間にする
- ・村やシェアオフィス利用者から本を集め、誰でも利用できる図書スペースを設ける
- ・村民とシェアオフィス利用者の横の繋がりが出来る仕組みやきっかけ作りをする
- ・使い方のルールを決める



(3331 Are Chiyoda HP より引用)



(京浜臨海園マンガミュージアムHPより引用)

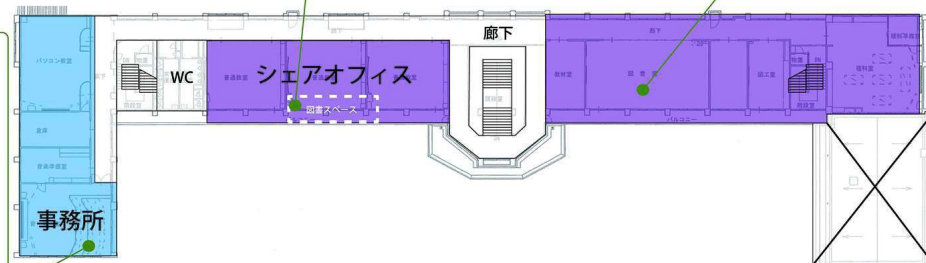
事務所

地元住民を事務所の職員として雇用し、施設運営や管理、利用者のサポートなどを行う。地元住民とシェアオフィス利用者が独自に持つものづくりの知識や技術を活かし東峰村の魅力発信に向け共に取り組む。

- ・NPO団体のような組織が運営する
- ・小石原小学校の運営や管理をする
- ・東峰村内の観光の窓口にもなる
- ・シェアオフィス利用者のサポートを行う
- ・様々な仕組みを提案する
- ・村での生活の相談も受ける



(日経トレンディネット記事「吉本興業が新田の小学校校舎に移転」より引用)



住民とシェアオフィスのむらづくり

発明



交流や意見交換などにより新しいアイデアを「発明」

発信



東峰村発の新しいアイデアをSNSなどを用いて全国へ向け「発信」

発見



全国の人がたくさんのアイデアや技術を持つ東峰村の魅力を「発見」

シェアオフィス (オフィス)

工芸・農業・林業など東峰村特有の産業に興味を持つ企業や人を集め、新たなモノを生み出す拠点にする。誰でも使えるファブラボにはレーザーカッターや3Dプリンターなどを配備する。特にシェアオフィス利用者と作家との交流や共同の取り組みが生まれるような工夫を行い、他のシェアオフィスには無いサービスや技術を提供する。

- ・ネット環境をアピールする
- ・共用のインターネット回線を用意する
- ・フリーWiFiスポットを作る
- ・静かに作業ができる空間をつくる
- ・開放的で利用しやすい配置にする
- ・自然光が入る明るいオフィスにする
- ・個室、共用デスク(指定席・フリー)のような利用体系をつくる
- ・防音性能に考慮したつくりにする
- ・各スペースの使用上のルールを決める
- ・滞在は拠点型、中期滞在、短期滞在などを用意する
- ・シェアオフィスの利用料を設定する
- ・会議室、オープンな会議卓を設ける
- ・仕事をサポートしたり、シェアオフィス利用者間で交流できるイベントを実施する
- ・ファブラボを併設する

◇およその収容人数・規模について

- ・共用デスク(自由席 60㎡指定席 80㎡) 4名～6名規模 × 4社=約20名
- ・個室 (20㎡×4=80㎡) 1区画2名程度 × 10社=約20名

約40名



(シブヤ経済新聞記事「渋谷にシェアオフィス「デント」」より引用)



(fablab kamakura HPより引用)

ファブラボとは

◇ファブラボについて

ファブラボとはDIYの共同スペースであり、デジタルからアナログまで多様な工作機械を備えている。これらの機器を用いて、木材加工・電子工作・立体工作などによりさまざまなものを工夫して生み出すことができる。利用者が協力して生活に必要なものを生み出し、生み出したものを世界に発信し、時には世界のファブラボと共同で一つのものを作り上げるといった目的をもって運営される市民工房、組織である。

- ・代表的な工作機械
レーザーカッター、CNCルーター、ミリングマシン、ペーパーカッター、ビニールカッター、3Dプリンターなど

◇ファブラボ小石原のアイデア

- ・焼き物の新しい形や制作方法の研究
- ・豊富にある木材を加工したオリジナル製品開発
- ・村民それぞれが持っているものづくりのノウハウを共有する場を作る

といったことをテーマにファブラボ運営に取り組むことで、東峰村の情報発信や、産業の活性化につながるのではないかと。

